



西山商店街イノベーションプロジェクト ー未完美術館での展示と旧電話ボックスの活用ー

梶本雅好研究室 企画 梶田脩希 中村悠稀

1. 背景

昨年度、総合企画実習の授業で、西山商店街にある未完美術館での展示会の開催に携わったことがきっかけとなり、西山商店街という地域を知り、街づくりに興味を持った。

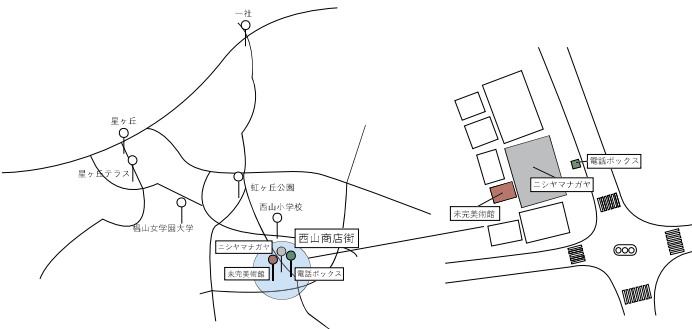
ドデスカ！（メーテレ）では、「隠れ家美術館“商店街からアート発信”」とメディアにも掲載していただき（2022年3月2日）、メディアやSNSを通して幅広い世代や地域の方に西山商店街の魅力を知ってもらい、より多くの人に利用してもらえる場所にできないかと考えた。



2. 現地調査

◇対象敷地

- ・施設名称：ニシヤマナガヤ倉庫
- ・施設名称：旧・電話ボックス
- ・所在：名古屋市名東区西本通 2-22（ニシヤマナガヤ裏）
地下鉄東山線「星ヶ丘駅」5番出口 徒歩15分
乗車停「星ヶ丘」→下車停「西山本通二丁目」



◇西山商店街の現状

- ・子育て世代が多く、幅広い年代の人が商店街を通るが、店舗は中高年の利用が多い
- ・アーケード前にあるバス停はかなりの乗客数が利用するが商店街の店舗の利用には繋がっていない



初めに、西山商店街にあるニシヤマナガヤ内併設の未完美術館とニシヤマナガヤ前にある旧電話ボックスの視察・ヒアリングを行った。

◆未完美術館

未完美術館とは、小さな倉庫をコンバージョンして誕生した、小さな美術館。展示を繰り返しながら、建物の補修や改修を繰り返しながら、時には風化もしながらゆっくりと“完成”されていく美術館。

一般的な美術館と違い、日差しも入り、空調もコントロールされておらず、既存の仕上げる素材感も残った美術館。そんな変わった展示空間であるが故になされる新たな作品との出会いや新たな価値の発見を目指し、未完美術館ならではのアートを発信していく。

【ヒアリング】

- ・未完美術館の入りづらさ
- ・改修・維持費の資金が少ないため、料金を絡めたシステム導入
- ・人がいなくても持続的に利用できる



◆旧電話ボックス

西山商店街が管理している電話ボックス。昭和57年からあったが、近年携帯電話の普及により電話ボックスが使われなくなってしまったため、電話の回線は切られている。

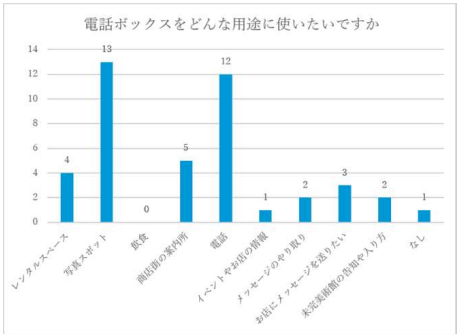
【ヒアリング】

- ・電話ボックスが使われなくなり、撤去料がかかることからそのまま置かれている
- ・昔からあり、レトロな西山商店街に合う電話ボックスをうまく活用したい
- ・電話ボックス改修・維持費の資金が少ない



さらに、ヒアリングだけでは見えなかった隠れたニーズを得るために、西山商店街の旧電話ボックス付近でアンケート調査を実施した（6月18日）。結果の一部を下に示す。

Q. 電話ボックスをどんな用途に使いたいですか。



- ・「レンタルスペース」は4票であったが、レンタルしてみたい人がいるのであれば、やる価値はあると考えた。10～30代の方がレンタルスペースを利用したいと回答していた。
- ・「未完美術館を知っていますか？」という質問に、「知らなかった、見に行ってみたいので入り口を分かりやすくしてほしい」と回答していた。

3. 目的

西山商店街にある『未完美術館』と『旧・電話ボックス』を活用した新たな提案をすることで、より多くの人に西山商店街の魅力を知ってもらい、西山商店街と地域の交流を深めることを目的とする。

4. 年間スケジュール

本企画の2022年1月から2023年1月の展示までの年間スケジュール

	未完美術館	旧・電話ボックス
4月	一宮商店街視察、企画提案	企画提案
5月	現地調査	現地調査
6月	企画提案	掃除
7月	企画提案	レンタルスペースお試し実験
8月	企画提案	企画提案
9月	YUYUART 展示会 フライヤー作成 利用案内書作成	YUYUART 告知スペース 利用案内書作成 ニシヤマ Picnic
10月	YUYUART 展示会 アンケート調査	YUYUART 告知スペース
11月	展示会アーティスト探し ハナミーのキモ粘土 展示会	ハナミーのキモ粘土 似顔絵粘土
12月	まとめ	まとめ
1月	未完美術館扉の改修 mul'tamayamamaho 展示会	mul'tamayamamaho 告知スペース

5. 企画内容 I【未完美術館】

5-1 企画 I

「改修・維持費の資金が少ない」

というヒアリングをもとに、

未完美術館の貸出システムの導入を提案した。

日程：毎日利用可能

時間：11:00 ～ 17:00

料金：1 週間 2,500 円

2 週間 5,000 円

内容：展示・ワークショップ など

※最大 1 か月の貸し出しが可能



利用案内書

5-2 活動内容①

初めに、お試し実験として YUYUART が展示会を開催した。

◆YUYUART 『Hello, New Me 』white to color

◇コンセプト

～自分と向き合いながら心の想いを色で表現し、白い世界を彩ろう～

真っ白な世界をみんなで色付け、訪れるたびに変化し、完成した時は 1 つの空間にみんなの思いが集まる。未完美術館ならではの展示を作り上げるために、未完というまだ完成していないもの同士を繋げ合わせ、作り上げていく過程をアートとして表現しながら、完成へと近づける。

◇作品制作ワークショップ

未完美術館内にあるキャンバスボードや白い物に絵具をたらしこんで、模様を作っていくアート体験。完成した作品は、期間中展示され、日に日に色づく未完美術館へと変化する。展示後は、体験した方に持ち帰っていただくことで、手元に作品が残る。



◇展示期間

期間：2022 年 9 月 23 日（金）～ 10 月 9 日（日）

体験：9 月 23、24、25、30 日、10 月 1、2 日

観覧のみ：9 月 26 ～ 29 日、10 月 3 ～ 9 日

時間：11：00 ～ 17：00

場所：未完美術館

◇100 円引きチケット導入

作品制作ワークショップに体験していただく方に、ニシヤマナガヤ（焼菓子 moegiirō、StoryCoffee、草木花の店たんぽぽ）で使える 100 円引きチケットを配布する。ニシヤマナガヤとコラボすることで、ニシヤマナガヤの売上貢献にも繋がった。

※有効期限：2022 年 9 月 23 日～ 10 月 9 日

※1 枚で 1 回のみ利用可

※YUYUART 展示会入場料

・観覧のみ：無料

・ワークショップ参加：200 円



◇フライヤー



◇チケット



◇カード作成



◇アンケート調査

作品制作ワークショップ体験に参加していただいた 20 人にアンケートを実施した。結果の一部を以下に示す。

Q. 参加費はいかがでしたか。

1、ちょうどいい・・・12 人

2、高い・・・0 人

3、安い・・・8 人

Q.100 円引きチケットは使用しましたか。

1、使用した・・・17 人

2、使用していない・・・3 人

Q.100 円引きチケットを使用しなかった理由はなんですか。

・期間中に行けなかったから

・その後予定があったから

・使用できるタイミングがなかった

5-3 活動内容②

◆ハナミーのキモ粘土さん

『たぶんね、楽しいよ、たぶんね』

期間：11 月 20 日（日）～ 27 日（日）

時間：11：00 ～ 17：00

入場料：無料

コンセプト

「万人受けより、キモ可愛い」

全員に好かれることは不可能だから

誰かひとりが「これ好きかも」

と思った時点で私の目標は達成する

在廊日：11 月 20.23.25.26.27 日



5-4 活動内容③

◆mu|tamayamamahō さん

『room m』

期間：1 月 17 日（火）～ 23 日（月）

時間：11：00 ～ 17：00

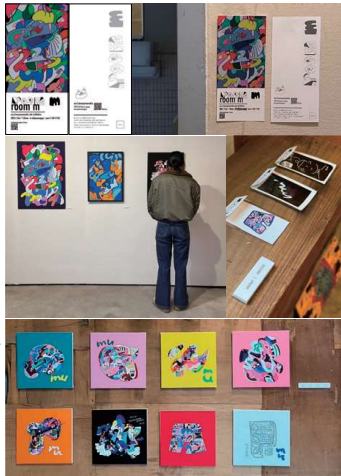
入場料：無料

コンセプト：私の空間、部屋

◎未完美術館の料金を絡めた

レンタル化を目的とし、

私たちがアーティストをアテンドした。



6. 企画内容Ⅱ【旧電話ボックス】

6-1 企画Ⅱ



レンタルスペースとして新たな仕組みをつくることで、使われなくなった電話ボックスを再利用するとともに、歩道を通った人との交流の場をつくることできる。さらに、貸出料金を絡めたシステムを導入することで改修・維持費の資金がないという問題も解決する。

内容：電話ボックスをレンタルスペースとして活用

物販、物々交換、展示など ※飲食や食べ物の販売は禁止

日程：毎日利用可能

時間：11：00～17：00

料金：1週間 3,000円

土曜日 1,000円

日曜日 1,000円

土・日 1,500円

※貸出料金の半分は改修・維持費の資金に、半分は西山商店街に分配する。

※物販した場合の売上は主催者側とする。



利用案内書

6-2 活動内容①

初めに、お試し実験として YUYUART がレンタルスペースをレンタルした。

◆YUYUART レンタルお試し実験

『YUYU ‘s collection ～ニシヤマ！

～ テンタルフリーマーケット～』

期間：7月23日（土）

時間：11：00～17：00

内容：フリーマーケット

売上：6,210円

レンタル料金（土曜日）：1,000円

利益：5,210円

※お試しであったため、無料でレンタル

◎お試しの売上から、貸出料金をいただいても利益が得られることが分かり、レンタルスペース貸出料金を決定した。



6-3 活動内容②

◆YUYUART 『Hello, New Me』white to color

期間：9月23日（金）～10月9日（日）

時間：11：00～17：00

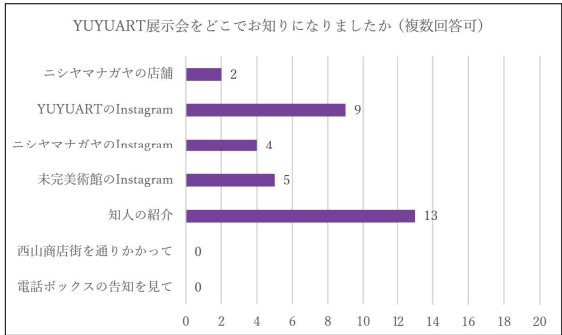
内容：展示会の告知スペース

売上：なし

レンタル料金（3週間）：9,000円

利益：-9,000円

Q.YUYUART 展示会をどこでお知りになりましたか。



アンケート結果から、旧・電話ボックスの告知スペースを見て展示会に来る人はいなかったため、告知場所としてあまり効果がないと考える。

6-4 活動内容③

◆ハナミーのキモ粘土 さん

『たぶんね、楽しいよ、たぶんね』

期間：11月20日（日）～27日（日）

時間：11：00～17：00

内容：似顔絵粘土

売上：11,700円

レンタル料金（1週間）：3,000円

利益：8,700円

◎実際にアーティストさんをアテンドし、

レンタルの仕組みがつくれることを確かめた。



6-5 活動内容④

◆mulitamayamamaho さん

『room m』

期間：1月17日（火）～23日（月）

時間：11：00～17：00

内容：展示会の告知スペース

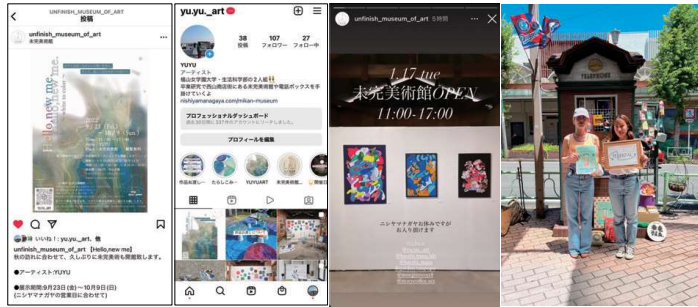
売上：なし

レンタル料金：3,000円

利益：-3,000円



7. 広報



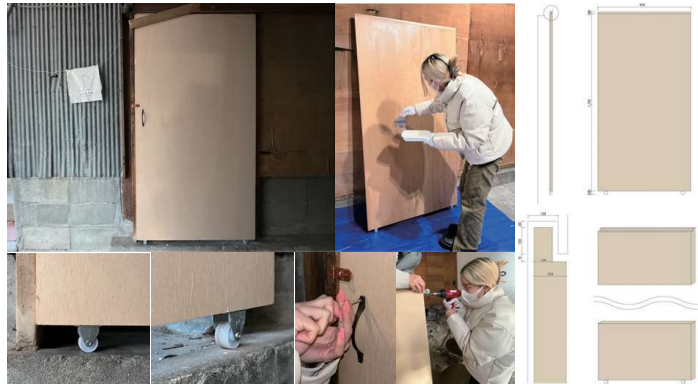
・Instagram での告知

・西山商店街でチラシ配り、声かけ

アンケート結果から、Instagram の告知はかなり効果的だが、それ以上に知人の紹介がかなり多かった。

8. 企画結果

未完美術館と旧電話ボックスで、料金を絡めたシステムを実践できたことで、売上金で未完美術館の扉の改修を行うことができ、改修・維持費の資金がないという問題を解決することができた。さらに、未完美術館で行った展示会では西山商店街にある店舗とコラボした有料チケットを取り入れたことにより、店舗に立ち寄るお客様が増え、相乗効果を生み出すことができたと考ええる。しかし、未完美術館の入りづらさは改善することができなかったため、今後の課題となる。



本企画で得た売上金を改修費に回し、未完美術館の扉の改修に行った（1月6日）。

9. まとめ

本企画では、料金を絡めた貸出システムを新たな運営方法として試みた。実際に、運営方法として活用できたため、貸出システムを今後も継続していききたい。そして、未完美術館での展示会や旧・電話ボックスでのイベントを通して、改修を繰り返しながら、よりよい西山商店街をつくり、地域の人が楽しんでいただける居場所になることを願う。